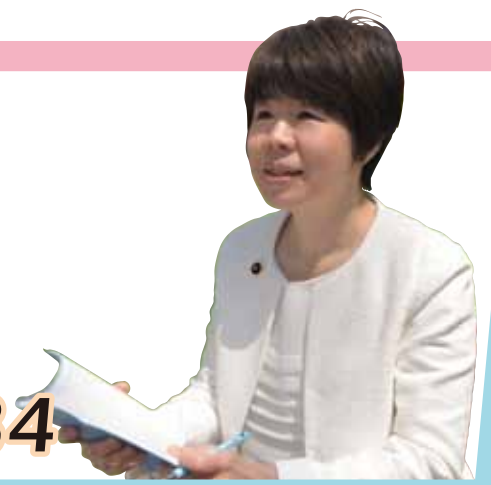




近藤じゅん子通信 vol.34

ハチパイでお米購入→最大50%ポイント還元キャンペーンを1月30日まで実施中！

第4回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年11月27日(趣意)

まちづくり

擁壁の補修・補強工事助成について

質問 新宿区では2、3助成、最高1500万円、土砂災害警戒区域では最高3500万円の助成を実施しています。また、擁壁コンサルタント無料調査派遣も行っています。

渋谷区は起伏の多い街で、擁壁や崖が多くあります。

擁壁の調査派遣、強化・補修工事の助成制度の創設について区長のご所見を伺います。

答弁 (区長) 区内の個人宅地を形成する擁壁は数千にも上ります。本区としても、危険性のある既存擁壁の補修・補強工事にかかる助成制度の創設に向けて、まずは危険性のある擁壁の現状を把握し、助成対象要件などを前向きに検討してまいります。

VR動画の活用について

質問 3Dを駆使した、まちづくり支援を目的とした「サイバードーム」を見学して参りました。

これは、実物大の空間にあらゆる視点で仮装立体空間を体験できるもので、まちづくりや施設整備、再整備の計画段階、案に対する意見集約、整備に向けたワーク

ショップに有効と感じました。

計画される整備プロジェクトについて、VR動画を作成し周知、また意見集約のツール、広報などに活用していただきたいと思います。

答弁 (区長) 今後は渋谷駅周辺の再開発に限らず、その他の地域でも、VR動画の活用を検討してまいります。

例えば、現在進めている、JRを跨ぐ猿楽橋の架け替え事業新しい橋の色彩や照明計画などの検討を予定しており、これらはまちの景観の重要な要素となることから、VR動画の活用も考えているところです。



まちづくり3Dシュミレーション
(横須賀市ホームページより)

子育て・教育

学校での朝預かりについて

質問

第3回定例会で学校

での朝預かりの進捗を伺い、明年4月、朝7時半から「全校」で開始を検討、運営主体は継続と安定性を考慮し検討する。とのこと答弁をいただきました。

そこで、調査結果の詳細と、運営主体など具体的なことが決まっている様でしたらお聞かせください。

答弁 (教育長) 令和6年第4回定例会で貴会派からご提案いただき、教育委員会では、ニーズ把握のために、放課後クラブや区立保育園の保護者を対象にアンケートを実施しました。

アンケートでは、就労などを理由に、約5割の保護者が朝の見守り事業を利用したいと回答しており、時間は7時半からの希望が多いこと、平日のほか長期休業期間の利用ニーズも高いこと、高学年でも利用したいというニーズがあることが分かりました。

これらを踏まえ、来年4月から全小学校において、平日、土曜、長期休業期間の7時半から体育館などを開放し、全学年を対象に朝の見守り事業を実施する方向で準備を進めています。

見守り体制については、平日と土曜日はシルバー人材センターの会員を複数人配置して対応し、長期休業期間中は放課後クラブ運営事業者が対応する予定です。

また、希望する児童には、運動や文化系プログラムを提供し、楽しみながら充実した時間を過ご

すことができるようにも調整しています。



福祉

障害者福祉について

質問 お子様が重度の心身障害をお持ちで、「渋谷区重心GHをつくる会」というグループの方からの要望書を拝見しました。(重心GHとは↓重症心身障害者のグループホームの略)

内容は「障害者福祉計画に「重心GH設置を明記」、また調査費等を計上して欲しい」、「区内場所を探して欲しい」です。

「重心GH」設置について、区長のご所見を伺います。

答弁 (区長) 「誰もが自分らしく暮らせるまち」を障がい福祉施策の基本理念に掲げる本区としては、避けて通れない重要な課題だと認識しています。

来年度に策定する、次期「渋谷区障がい福祉推進計画」に取り組みや目標を明確に位置付け、喫緊に必要な施設との調整を図りながら、当事者や保護者の皆様と共に、りばあさいど原宿に続く住まいの場の実現を目指してまいります。

介護・障害福祉従事者の人材確保について

質問 現在、介護職員及び障害福祉従事者への賃上げにつながる支援は、国の処遇改善加算のほか、都が独自に介護および障害サービス事業所の職員を対象に、月額1万円の手当を補助し、さらに5年目までの経験の浅い介護職員等には1万円を上乗せして加算しています。

ただ、これでは人材確保と処遇改善とは言えない状況です。そこで、介護職員及び障害福祉従事者へ区独自の上乗せを提案します。

答弁（区長）人材不足による福祉サービスの停滞を招くことがないよう、令和9年に予定されている国の報酬改定を待つことなく、区独自の支援を検討することになりました。

来年度から支援を開始できるようにスピード感をもって取り組んでまいります。



民泊

民泊の条例改正について

質問 区民の声として、騒音やゴミ問題と住環境が悪化したとの

訴えを聞く機会が増えています。

そこで、今後、渋谷区の民泊への取り組み、課題を踏まえ条例改正も含めてお考えを伺います。

答弁（区長）民泊については周辺の住民からは、騒音、ゴミのポイ捨て、喫煙などの多数の苦情が寄せられており、課題と認識していました。

区民の生活環境を守るため、住居専用地域・住居地域における新規の届け出については、「家主居住型」及び「届出者が近隣在住等」のみを認める方向で条例改正の準備を進めています。

民泊の事業者について

質問 民泊の事業者にも「ちゃんとしている民泊」と「ちゃんとしていない民泊」があります。

また後者には、そもそも届出をしていないモグリの「闇民泊」もあります。

オーナーや管理者の顔が見える民泊にするためにも、現行の条例「営業7日前までの届出規制」を、期間を月単位で伸ばし、その間、近隣住民への周知の徹底、説明会、内覧会等を義務付け、町会への加入の際も、町会の役員会に出席し説明をしてもらうってはいかがかと思えます。

答弁（区長）今回の条例改正に併せ、届出期間の延長、周知の徹底、説明会の開催等についても条例、規則等に対応できるように検討し、進めてまいります。

物価高対策

お米購入ポイントバックについて

質問 本年1月、我が会派から、国の重点支援地方交付金を活用した、物価高騰対策の緊急要望を提出いたしました。

その折、お米券について言及させて頂きました。すると区長は昨年からお米券の構想がある事を伺い、今となっては国より早い取り組みを高く評価いたします。

今回のハチペイを活用したデジタルお米券とも言ふべき「お米購入で最大50%ポイント還元キャンペーン」での区民支援について、反響は意外に大きいです。

私どもはデジタルを進めるなら、デジタル支援は車の両輪と訴えてきました。デジタルでのお得を提供するなら、デジタルデバイス解消はセットです。

ぜひ、このキャンペーンを機に、ハチペイを認証して利用しようとする方を支援するために、「区役所7階でサポートします」の一言をキャンペーンとセットで区ニュース、チラシに入れて頂きたいと思えます。

答弁（区長）来月から実施するお米購入にかかるキャンペーンにつきましても、より多くの区民の方にご利用いただくためにも、議員ご提案の7階のハチペイサポートデスクも含めた区のサポート体制について、区ニュースやキャンペーンチラシなどで周知を行っていきたいと考えます。



渋谷区立常磐松小学校
創立100周年記念祝賀会
地域の卒業生を代表してご挨拶
させていただきました。

ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 渋谷区議会公明党幹事長
- 区民福祉委員会
- 自治権確立特別委員会

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507



ホームページ



X(旧 Twitter)



Facebook



LINE